

平成 29 年度

盛岡公務員法律専門学校

自己点検・評価委員会結果報告書

平成 30 年 3 月

平成 29 年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡公務員法律専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

平成 30 年 3 月

学校法人龍澤学館  
理事長 龍澤 正美

### 1. 学校の教育目標

本校は、地域社会の発展に貢献するため、進展を続ける社会情勢に即応できる人材・社会で活躍できる人材の育成を行うことを目的としている。そのため、単に公務員試験や就職試験における筆記(一次)試験突破のための知識を詰め込むのではなく、多くの経験を積むことで豊かな人間性を育み、自ら「気づき」「考え」「行動する」力を養う教育に努めている。

### 2. 29年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・「人間力」や「対応力」を身に付けさせるため、今の学生たちに不足している「経験値」を増やし、「自ら考えて行動できる力」を高めていくよう、インターンシップや実践的な授業を取り入れた指導のさらなる強化を図る。
- ・近年、基礎学力の低下や学生の学力差が大きくなっているため、一人ひとりの学生に合わせた指導に取り組み、きめ細かい指導を強化していく。
- ・高校生や社会人向けの公務員試験対策講座や地域別出張公務員対策講座、進路相談・ガイダンス等で、本校がもつ情報や指導力を地域に還元していく。

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

#### (1) 教育理念・目標

※適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校におけるキャリア教育・職業教育の特色を教職員が共有しているか	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
評価理由と改善策	本校は、専門教育を通して地域・社会の発展に寄与する人材を育成することを目的に、実社会で要望され、活躍できる能力、技術、知識の養成とともに、公務員あるいは公共性の高い仕事に携わる人間としての自覚を持ち、明るく健康で建設的な考え方をもちた人間性豊かなビジネスパーソンの育成を目指している。 少子化や若者の首都圏流出が激しい現代において、優秀な人材を地元で育成し、地元地域の未来を担う人材として地元に残って活躍してもらうことも、我々の大切な役割であると認識している。 このことは、学校案内や募集要項に掲載して広く周知するとともに、学生に対しても、日々の生活の中でも繰り返し伝え、心の教育を行うよう努めている。	

#### (2) 学校運営

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
評価理由と改善策	年度ごとに、施設環境・教育内容・学生募集・教員研修・地域社会との関連・その他の項目について事業計画を策定し、法人本部と学校が連携しながら運営している。	

## (3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
評価理由と改善策	教育活動について、教育課程編成委員会にて、企業様のご協力の下、カリキュラム等の作成・見直し等に取り組んでおりさらに高めていく。また、例年同様インターンシップを実施しており、受入先と学校側との協定書等の取り交わしを行っている。その後、受入先から実施後のアンケートを提出して頂いており、社会人になる上での自主性の指導に活用している。また、授業アンケートを実施しその結果を分析し、教職員全体の研修会にて検証し教職員のスキル向上に役立っている。項目12については、継続して教員の確保を行っており現状でも対応できているが、さらに十分な体制を整えられるよう努めていきたい。	

## (4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
評価理由と改善策	就職率は毎年高水準で推移しているが、全員内定を目指すのはもちろん、第一希望先への内定率向上を図っていく。そのためにも卒業生の活躍状況の把握を今まで以上に徹底し、在校生への指導に活かしていきたい。	

## (5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
評価理由と改善策	学習の相談や進路相談、その他の相談に気軽に応じる体制を整えている他、指定寮への入寮補助金の支給や学費減免試験の実施等、経済的な支援体制も充実させている。地域イベントへの参加やボランティア活動を積極的に行うことで学生の社会性の向上につながっており、大変有意義な取り組みであると実感している。	

## (6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4
評価理由と改善策	各フロアに自習室を設け、授業時間以外にも自由に使えるよう開放している。また、教務室内にある図書は学生にも貸し出しを行っており、学業面の向上を計っている。防災に対する体制の整備については、その年の学生数に合わせより良い避難場所の確保している。	

## (7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
評価理由と改善策	近年は、安定して定員数を確保しており、合格実績・内定実績をはじめ、就職先での卒業生の活躍状況・評価の高さ等、本校の教育成果をご理解いただけるよう努めている。	

#### (8) 財務

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
評価理由と改善策	法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報については既にホームページで情報公開している。	

#### (9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
評価理由と改善策	法令、設置基準等の遵守と適正な運営を行い、自己評価の結果をもとに学校関係者評価委員会を開催し、その結果と合わせてホームページにて公開している。	

#### (10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4
評価理由と改善策	公務員や公共性の高い職業を目指す学生たちだからこそ、地域のイベントに出展したりボランティアスタッフとしてお手伝いするなど、地域活性化の取り組みに自ら関わるといった経験は必要であり、学校を挙げて積極的に取り組んでいる。このことが地域貢献・活性化につながっていることはもちろん、学生にとっても地元の魅力発見や人間的成長につながる大きな経験となっている。	

#### 4. 総合的な自己評価結果と今後の目標

29年度重点目標については、一定の成果をあげることができた。学力向上に向けた指導はもとより、学力向上のみに偏らない指導の成果が学修成果として現れているといえる。その上で、本校が優秀な人材を輩出し続け、社会のニーズに応えていくためにも、今後はさらに以下のことに力を入れて取り組んでいきたいと考える。

学校は、もとより閉鎖的な環境でなりがちであるが、学校から地域への情報発信や、地域や企業・自治体等の外部組織から学校に対する意見・要望等をいただくことで、地域に開かれた存在として、未来の公務員・地域の担い手を地域の皆様と共に育てていける環境づくりに努めていきたい。そのためにも、学生の声や保護者の声はもちろん、地域住民や企業・自治体等の声を今まで以上に積極的に取り入れる仕組みを整備していきたい。また、卒業生の活躍の状況についても詳しく把握することで、在校生に対する指導法や指導内容の充実にも活かしていきたい。

平成 29 年度

盛岡公務員法律専門学校

学校関係者評価委員会結果報告書

平成 30 年 7 月 5 日

学校法人 龍澤学館  
理事長 龍澤 正美

### 平成 29 年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 盛岡公務員法律専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を実施いたしました。以下に、その内容についてご報告いたします。

今後は、各評価委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

#### 1. 学校関係者評価委員

氏名	企業・団体名	部署・役職
山口 和彦	一般社団法人岩手県バスケットボール協会	副会長
金野 淳一	三陸鉄道株式会社	運行本部長
金澤 翔太	卒業生	
吉田 拓矢	卒業生	
照井 基規	盛岡公務員法律専門学校	副校長
吉田 友哉	盛岡公務員法律専門学校	教務部長

#### 2. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 学校関係者評価に係る説明
- (5) 平成 29 年度自己点検・評価結果報告ならびに議論
- (6) 閉会



### 3. 議論内容

本校の教育理念・目標と 29 年度に定めた重点目標と計画について説明を行った後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価の結果に基づき、評価項目ごとに達成状況や取り組み状況、改善策等について、順次、外部委員の皆様と議論を行った。

#### ① 教育理念・目標

「学校の理念・目的・人材育成像は定められているか」については、学校の理念・人材育成像を全教職員で共有するために、管理職から繰り返し発信し、地域社会に寄与すること、専門学校生卒として即戦力を期待される人材育成に努めるよう、皆が常に意識できるよう取り組んでいる。

「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか」については、学校案内や募集要項に掲載して広く周知しているほか、入学ガイダンスにて学生ならびに保護者に向けて詳しく説明している。また、学生に対しては、日々の生活の中でも繰り返し伝えることで意識を啓発し、心の教育を努めている。このことについて、外部委員から「本校出身者は企業、自治体から評判が良いとよく聞くので指導が上手くいっている」と高い評価をいただいた。また、「目指す職業によっては奉仕の心を持った学生を育ててほしい」と求められたため、今後の学生指導する上で教職員にて共有することとした。

#### ② 学校運営

「運営方針に沿った事業計画の策定」については、年度ごとに、施設環境・教育内容・学生募集・教員研修・地域連携等について事業計画を策定し、法人本部との連携を図りながら運営しており、今後も継続していくことで確認した。

「教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか」については、教務が学生指導、事務局が学生募集・広報の担当となっているが、全教職員ですべての業務を担当できるよう情報を共有し行っている。

「教育活動等に関する情報公開」については、現在もホームページ等で積極的に行っており、ウェブサイト・SNS を利用し情報公開をしている。

#### ③ 教育活動

「教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか」については、教育理念に沿った教育課程の編成を行っており、教職員間での共有も計られており具体的な実施方針についてもさらに精度を高めていくこととした。

「学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか」については、2年間1700時間を優に超えており十分な時間を確保できており、それに見合ったカリキュラムを毎年度組み直している。

「関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか」については、インターンシップの受入先と学校側との協定書等の取り交わしを行っており、実施後、受入先からのアンケート結果から、社会人になる上での自主性の指導の活用に活かしている。

「授業評価の実施」については、授業アンケートを実施し、その結果をデータ化して分析し、教職員全体の研修会にて検証し教員のスキル向上に役立てている。

「職業教育に対する外部関係者からの評価」については、インターンシップ受入先に依頼して、実習生の評価を6項目5段階についていただいているが、今後も検討を続け必要に応じて評価項目の変更を行っていくことを確認した。

「関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか」については、業界との連携による講師確保について今後さらに進めていくこととした。

#### ④ 学修成果

「就職率の向上」について、外部委員から「毎年高い実績を出していること、また、本校の卒業生の活躍を外部から耳にする機会が多くあり合格、内定だけではない指導も素晴らしい」と高い評価をいただいた。社会のニーズに合わせた人材を輩出できるよう引き続き指導することとした。

「卒業後のキャリア形成への効果の把握」については、卒業生の職場における活躍状況の把握にこれまで以上に努めていくことを確認した。

#### ⑤ 学生支援

「課外活動に対する支援体制の整備」について、年々ボランティアの依頼が多くなっておりボランティアに参加する機会が増えてきている。この貴重な機会であるボランティア活動を積極的に行い、それが学生の社会性の向上につながっていることを高く評価いただいた。MCLグループで行っている部活動やサークル活

動への参加を行っているので、さらなる学生の成長につながるよう、メリハリをもって取り組める支援を行っていくことを確認した。

#### ⑥ 教育環境

「防災に対する体制は整備されているか」については、学生数が増えたことにより避難場所を変更しながら実施していき、より良い避難場所の確保を検討していくこととした。

#### ⑦ 学生の受入れ募集

「学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか」については、教育理念と実践の取り組みによる学生の成長も具体的に伝え、本校の教育成果をご理解いただけるよう努めており共感をいただいている。

#### ⑧ 財務

既に情報公開されていることや法人本部との連携について高く評価をいただき、特に意見は出なかった。

#### ⑨ 法令遵守

「自己点検の実施と問題点の改善を行っているか」について、昨年度の自己点検項目については、現在、問題点の改善に努めている。今年度、新たな点検項目で挙げた問題点についてはこれから取り組んでいく。

#### ⑩ 社会貢献・地域貢献

「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている」について、我々ができる社会貢献として、地域のイベントへ参加することやボランティアスタッフとしてお手伝いすることで、若い力で地域を盛り上げられるよう、教職員一体となって取り組んでいることを高く評価いただいた。また外部委員から「地域に活力を与える若者への期待が大きいため、今後もより積極的に様々な遠き貢献活動に取り組んでほしい」との言葉をいただいた。

### 4. まとめ

外部委員の方々からは、このような自己点検・評価が行われているので、学校の精度

が高くなっており、年々優秀な人材を輩出されてのだと評価いただいた。今回の結果は、全教職員にフィードバックし、学修成果等のさらなる向上に向けて努めていきたい。

今回の委員会では、盛岡公務員法律専門学校が地域から必要とされる学校となるため、優秀な人材を輩出すること、さらに地域貢献活動を積極的に取り組み、今後さらなる地域の発展のために教職員一丸となって励んでいきたい。